

南成瀬中だより



—2026年度 第3号—



ホームページアドレス <https://machida.schoolweb.ne.jp/1320099>

2026年6月29日発行

共生、自主、貢献

町田市立南成瀬中学校

校長 鈴木 和宏

Tel 042 (729) 3441



『努力は報われるのか…』

校長 鈴木 和宏

体育祭。本当に皆さんのすばらしい姿を観させていただきました。

赤群・緑群・青群・黄群。それぞれの群がスローガンに向かって、一つになって取り組む姿は、きっと多くの方の心を動かしたことでしょう。校長も本部前の最前列から皆さん一人一人のがんばっている姿を見させてもらいました。私も皆さんの真摯に取り組む姿に多くの感動をもらいました。そんな皆さんに伝えます。「ありがとう」。

皆さん、高校野球は知っていますか。自分はこの高校野球が大好きで、熱戦が繰り広げられる時期になると気持ちがとても高揚します。毎年春休みに「選抜高校野球大会」が実施されています。今年は、大阪府代表の大阪桐蔭高校が優勝しました。大阪桐蔭校は今や強豪校として名を馳せており、今回と合わせて春夏通算 10 度の全国優勝をしています。では、東京都に初めて選抜高校野球大会の優勝旗をもたらしたのは、いつ、どの高校だったのでしょうか。それは、今から 69 年前の 1957 年の早稲田実業学校高等部です。そのチームでエースピッチャーとして活躍したのが、後に打者として世界記録868本のホームラン記録を打ち立てた「世界の王」と王貞治さんです。同じ巨人軍で同時代に活躍した長嶋茂雄さんと組み「ON 砲」と称されました。知っている人もいるかと思いますが、この二人は、日本プロ野球界のレジェンドです。同じように活躍し人気もあった二人ですが、長嶋さんは「天才」と呼ばれたのに対し、王さんは「努力の人」と呼ばれました。そんな王さんは、次のように語っています。

『努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力と呼べない…。』

ホームラン本数世界記録を打ち立てた方の言葉ですからこれほど厳しくもあり説得力のある言葉はないでしょう…。そこに私のような凡人が異論をはさむ余地などありません。ただ、それは百も承知で、あえて凡人の自分の努力観についても話してみたいと思います。

スポーツの世界では、努力を重ねても、結果として勝者と敗者、成功する者と失敗する者に分かれてしまいます。これは、スポーツに限ったことではありません。私も、受験や部活動、就職活動、昇任選考などで「あれほど努力したのになぜ？」という悔しい思いを何度もし、その度に落ち込んできました。でも、振り返ってみて、当時の自分を「努力と呼べるレベルではなかった。」「無駄な努力をした。」とは思っていません。そう思ったのは、自分が持っている次の努力観によります。

『努力する者が必ず成功するとは限らない。ただし、成功した者は、必ず努力をしていた。』

私は、努力が必ず成功に結び付かないことを何度も経験しています。その一方、努力すれば成功する権利が等しく与えられることも何度も経験してきました。自分のこれまでの数少ない成功は、それさえ努力を怠っていたら、決して得ることはできなかったはずです。加えれば、最終的に成功しなくても、努力した過程において、必ずと言っていいほど「やりきった。」という達成感を感じる瞬間がありました。だから、「もう一回チャレンジしてみよう。」「別の新たなことをやってみよう。」という意欲が湧いたのです。

また、成功できなかったことで味わった挫折感が、その後の自分に教訓として役立ったこともあります。その結果、もう一つの次の努力観をもつようになりました。

『無駄になる努力はない。』

前回の朝礼で「目標をもつ」ことについて話しました。目標を設定するうえで「努力する」「がんばる」といった言葉を使うことがあります。でもこれ続けることで「辛い」「しんどい」と感じることもあるかもしれません。そんな時に、今回紹介した努力観を思い出してくれたら幸いです。

薬物乱用防止教室

6月5日(金)に本校体育館で全校生徒を対象に薬物乱用防止教室が行われました。本校薬剤師の神林弾先生に講演をしていただきました。違法薬物を1回でも使用すると脳へのダメージが大きく、また依存性も強いので、体だけではなく人生にも大きなダメージを与えてしまう。さらに薬物使用を止めたくても止められなくなるという話もしていただきました。また近年は若い人たちが薬物使用で検挙される人数が増えており、軽い気持ちで犯罪に手を染めてしまう危険性が学生の身近な場所にそのあるということでした。



説明に聞き入る生徒たち

2年生 狂言教室

6月16日(火)2年生を対象とした狂言教室を開催しました。

狂言は室町時代に成立した日本を代表する伝統的なせりふ劇・喜劇です。大がかりな舞台装置を使わず、言葉と仕草で笑いを生み出すのが特徴です。

狂言『柿山伏』を鑑賞し、狂言での動物の鳴き声や体育館いっぱいに聞こえる声の出し方に圧倒されました。また狂言の特徴的な歩き方である「摺り足(すりあし)」や発声の体験もしました。2年生は室町時代から続く日本の文化に触れ、現代にも残る狂言の魅力を感じました。



先生方も「摺り足」に挑戦！

南成生、頑張っています

毎月、4週目の金曜日、南エリア中学校給食センターの裏手にある、東光寺いこいの広場で「子ども食堂」が開催されています。南成瀬中学校の生徒が受付や配膳のお手伝いをしています。ご近所のお母さんと小さな子に対して、「こんにちは」「いらっしゃいませ」と笑顔で挨拶をし、「たくさん食べてね」と明るく声をかけています。ボランティアの方にも「よく気が付き、動いてくれています。とても助かっています」とお褒めの言葉をいただきました

5月・6月の子ども食堂の様子です。しっかりとお仕事をしています！

表彰

○陸上競技部

第77回東京都中学校地域別陸上競技大会

第7位 I.Kさん

○男子バレーボール部

第7ブロックバレーボール選手権大会 優勝

○野球部

町田市中学校体育連盟 野球シード権決定大会 第3位

○個人(学校書初め)

第六十二回全日本書初め大覧覧会 特選 O.Yさん

第六十二回全日本書初め大覧覧会 特選 M.Mさん

